

久米地区青少年健全育成連絡会（愛媛県）

こんにちは、久米公民館館長の安永と申します。公民館の目的を3つ挙げて普段活動しております。

- ①安全で安心して暮らせるまちづくり。
- ②自分たちの住んでいるところをよく知ってもらい、誇りと愛着を持ってもらう。
- ③一人でも多くのいろいろな人と出会えるきっかけ作りをしよう。



さて、私が考えるに、防犯には直接防犯と間接防犯があるかと思います。今日はこの中でも、間接防犯を中心に運営審議委員長の仙波から発表させていただきます。よろしくお願いいたします。

活動地域の紹介

仙波です。よろしくお願いいたします。地区の概要を説明させていただきます。久米地区は人口3万弱、世帯数12,000、町は11町ありますので11分館から成ります。地区内には、中学校1校、小学校4校、高校が1校あります。小学校は、もともと久米小学校1校でしたから、昔は久米公民館と小中1校で非常に統一された地域だったのですが、児童数の増加に合わせて3つの小学校が増設され、現在は4校になっています。

私どもの団体は昭和61年に設立し、地域最大の子どもにかかわる団体です。公民館の下に事務局があり活動しております。もちろん皆さんのように監視性を高める防犯活動もしております。13年度から「見まもり隊」を作りましたが、きっかけは広島の流れ去り事件で、その時私もPTA連合会の会長をしていましたので、全小学校に「見まもり隊」を作ろうと発信して、久米地区でも4つの小学校で「見まもり隊」ができました。ただ、活動を続ける中でやはり地域に1つの「見まもり隊」があって、それぞれ分室があった方がいいと、21年に「久米見まもり隊」に統合しました。

4つの「見まもり隊」がこのように活動をしながら、公民館を中心に学連協や青少年健全育成連絡会と協働して、地区全体を「久米見まもり隊」が見守るという組織統合をさせていただきました。これは事業の効率化と有効性を担保するためのものです。

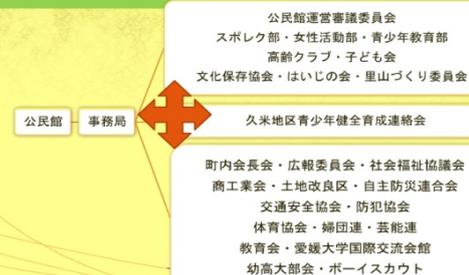
公民館の役割

- 安全で安心して暮らせるまちづくり
- 自分の住んでいる所をよく知ってもらって誇りと愛着を持ってもらう
- 人と人が出会う事が出来るキッカケづくり

↓
防犯には2つある。対処療法と根本治療

② 団体概要

昭和61年設立 地域最大の組織



今日の話は大まかになるのですが、久米地区はたくさんの方の防犯活動をしております。その中でも、特に子どもに出番と居場所を作った（「まちの縁側づくり」と久米では呼んでいます）3事例を紹介させていただきます。



間接防犯について～わくわく里山キャンプ

まず最初は里山づくり。地域教育、ボランティアを活性化した事業です。里山というところは少し変わっていますので、ビデオで見ていただけたらと思います。

（ビデオ上映）

— なに？ 何かいっぱい立っとる。なんだこれ。これはもしかして、埴輪。えーっ、なんかつくしみたいにいっぱい生えとるけど。これは手作りですよ。時代もわりと新しそうですよ。えっ、ははは、いっぱい。（笑）すごい。

— 小高い丘にびっしりと埴輪。埴輪。埴輪一つ。いったい誰が、何の目的で置いたものなのか。

— こんにちは。南海放送ですが。埴輪ですか、これ。これは何事ですかこの埴輪は。

館長 これは小学校6年生の卒業記念で作ってる。

— あっ、埴輪を。久米小学校ですか。

館長 久米小学校と窪田小学校。今ここ全部で 500 個ぐらいあるから。

— えーっ、そんなにあるんですか。

館長 今年また 100 体ぐらい。

— えーっ。

館長 毎年 100 体ずつぐらい増える。

— それで一つひとつ埴輪の顔が違とったり味わいがあったり。

館長 これは要するに平成の埴輪や。

— うん、うん、平成の埴輪。

— 6年前、憩いの場を作ろうと地元の人たちが協力して、みかんの耕作放棄地だったこの場所を整備。里山と名付けました。そして子どもたちにも里山の整備に一役買ってもらおうと始めたのが埴輪作りだったんです。埴輪はすべて子どもたちの手作り。

— うわー、よく見える。展望台があって。このふもとがよう見えますけども。

館長 ぱっと見、このあたりはまだ田んぼとか池とかあるでしょ、町に近いけどまだまだ自然がたくさん残っている地域じゃないかなと思うんですよ。山があって池があってと、これからどんどん人がいろんな人に来てもらうように宣伝していかないかなのかなと思ったり。

（ビデオ上映終了）



もちろん、なぜこれが防犯にと思われるでしょうが、この小学生を里山に呼び込んだ同じ場所で、実は里山キャンプをやっております。これがその時の映像です。受付は小学校の先生がします。地区内の4小学校の4年生が約200名集まって、一晩何もなくて野外キャンプ体験をします。

ただ、地域の人が小学生と関わるのではなく、集まった小学生をリードしていくのは中学生です。4年生の時にこの里山キャンプに参加した中学生が4年生を指導するという仕掛けにしております。リーダーとして中学生が小学生を指導しながらテントを作ります。

キャンプファイヤーは、大学生の仕事にしています。地域の廃材を集めますので、一晩中キャンプファイヤーをしています。思い出を胸に、毎年200名前後の小学校4年生が初めて地域デビューをしながら、地域のそれぞれの年代層が関わる。これをこの里山で始めました。



[4年生と中学生ボランティアの関わり合い]



[中学生の指導で完成]

間接防犯について～安全安心マップづくり

2番目は皆さんのところでも行っていらっしゃる子どもの安全安心マップづくりです。

(ビデオ上映)

—— 松山市の福音小学校です。こちらでは小中学生とそれから地域の人たちが一緒になってこうした地域の安全マップを作っているんですね。

—— なかなか見事な出来ですね。

館長 そうですね、ここは福音小学校は今年で3回目です。

—— 狙いとしてはどういうことなんですか。

館長 来年小学校1年生に入学してくる子どもたちのために、あなたの通学路はここですよ。ここが楽しいところです。ここはちょっとだけ危険ですよということを知らせてあげたいなということで作っております。

—— 自分たちの住んでいる町のこともよく分かりますよね。

館長 そうですね。

—— 通学路ごとの班に分かれていざ出発。今年はどんなマップができるでしょうか。



—— 緑のカードは何のカードなん。

小学生 危険な所用のカードです。オレンジ色のみかんカードは町のステキなところを発見して書きこみます。レモンカードは大人が気付いたことを記入します。

—— ここ、今チェックされていたのは何か。

保護者 あそこの細い道の所は、ここは車が通るので子どもたちはあちらの細いほう、店の裏を通るので、ぶつかったりする恐れが。

—— 国道11号のすぐそばで交通量も多く、見えない危険もいっぱいありそうです。枝松バイパスの高架道路の下には福音公園がありました。

小学生 福音公園は雨が降っても遊べるので、1年生にも遊んでもらいたいです。

—— その一方で。

小学生 不審者に遭ったことがあったので、なるべく新1年生に遭わないようにしてほしいです。

—— 中学生は地図係。カードの場所をそれぞれ地図に記録しました。学校に帰ってからカードを切抜き、地図を仕上げます。いろいろな報告をしあってみんな和気あいあい。地域の素敵なおところ、危険なおところを再発見し、みんなが仲良しになれた1日でした。

(ビデオ上映終了)

安全マップづくりは、17年から今まで5回行っていきます。毎年少しずつ手法を変えながら、町のいろいろな課題を発見し、良いところも伝えながらマップを作っています。

その中で、一番変わったのがこの平成20年度版。御覧のようにイラストマップにしています。これは筑波大学の渡研究室の学生さんに作っていただきました。新1年生に贈るマップなので、夢を贈りたいので、そういうマップにしてくれと言ったら、こういう具合になりました。

今ビデオでありました福音公園。マップの中で地域の課題として出てきましたので、高校生に投げかけました。高校生が考えた意図を小学生に伝えるビデオです。

(ビデオ上映)

高校生 福音小学校の皆さん、こんにちは。

私たちは福音公園をステキで楽しい公園にしようと考えています。

そこで公園にある柱に絵を描こうということになりました。

名付けて柱で遊ぼう、公園アート。

みんなの手形を使って絵を描きます。

素敵な絵ができるように皆さんよろしくお願いします。

3月19日、1時から福音小学校でやっているのです皆さん来てください。

よろしくお願いします。

一同 よろしくお願いします。

(ビデオ上映終了)

実はこの高校生の中の一人は福音小学校出身の高校生です。自分が中学生の時にこの福音公園ができて、何か不穏な公園ができたと思っていたらしいです。地域の呼びかけで、公園の改造をしようという動きがあるのなら私も参加するということで来ていただきました。でき上がったものがニュースになっておりますので、少し見ていただけたらと思います。

(ビデオ上映)

アナウンサー 子どもたちの手形を使ったアート作品が松山市の公園に完成し、参加した子どもたちは東日本大震災の被災地へ応援メッセージを書き添えました。公園には地元の小学校の児童や高校生などおよそ40人が参加し、児童の手形およそ600枚を並べた縦4メートル横3メートルのパネルを完成させました。これは人通りが少ない高架下の公園を人が集まる安全な場所にしようと企画されたもので、手形でタンポポや蝶をかたどり、カラフルなアート作品に仕上げました。

完成直前に東日本大震災が発生したため、子どもたちが被災者を勇気づけたいともう1枚パネルを追加し被災地へのメッセージを綴りました。

小学生 愛媛からも応援しています。

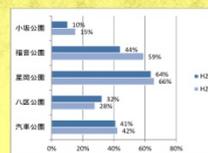
(ビデオ上映終了)

23年にこのタンポポをモチーフにしたアートパネルを作り、今年は「ありがとうの樹」を高校生たちに作っていただきました。飾るたびに、公園が明るくなった。コンクリートのむき出しの壁にこのような楽しい絵がかかるだけでも、公園の雰囲気が変わったという評判です。

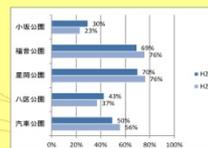
24年、活動の前と活動の後で保護者の意識がどう変わったのかを建築研究所の樋野さんに分析していただきました。一番私達が気にしていた安心率。福音小学校区には5つの公園があるのですが、その5つの公園中最大の15%安心率が高まりました。訪問率も福音公園が最大で6.5%高まっています。いろいろな人がこの公園をよりよいものにしていこうとしていることが少しずつ保護者の方にも伝わってきたと思っています。



21と24年の比較調査 分析：樋野公宏(建築研究所)



● 安心率
福音公園が
最大の15%増



● 訪問率
福音公園が
最大の6.5%増

間接防犯について～キャリア教育支援

3番目はキャリア教育支援。一応、学校支援ボランティア事業と名付けましたけれども、久米中学校の1年生に「仕事語り部講座」を18年より公民館が仕掛けて行っております。もちろん授業としてはキャリア教育でずっとあったものですが、かつては学校の先生が講師を集めてくる。2年生の職場体験も、学校の先生が探してきて校区外に発注する。「それはちょっとおかしい」と学校に言いますと、中学校の先生は地域を知らないのですと。それでは調べたり探したりするのは地域が行い、情報を渡すことにしました。現在では、仕事語り部講座のほとんどが地域の方、職場体験も地域の中の事業所でするようになりました。



やりだして2年目。恥ずかしい話ですが、それまで久米中学校では毎年20件程度の万引きが発生していたのです。ところが、この事業を始めてから2年目に最初にゼロになりました。次の年に1件だけ起きました。それが非常に残念で、先生がもう1回生徒を指導しました。それから3年、合計5年間で1件だけ。最近の3年間は万引きの発生がゼロになっています。このように中学生も地域を意識すると行動が変わりました。

変わった中学生が地域に出てきますと、町の人也非常に喜びます。そういう中で今年の2月に行ったのが健康ウォーク大会です。この公民館の健康ウォーク大会には、2年の生徒会役員の発案で2年生全員が参加することになりました。こういう形で地域の方と交わりながら、子どもたちが自主的な参加をするようになりました。

地域清掃。これは中学3年生が地域の清掃に生徒会として参加しています。小学校6年生は里山に植輪を作り、中学3年生になったら育った地域を清掃するという形で、地域の中で子どもたちが活躍する場を作ることによって犯罪が減ってきたと思います。

どうも御清聴ありがとうございました。これで発表を終わらせていただきます。



質疑応答

●質問 活動の中に防犯やキャリア教育という視点があって、小中学生が参加した活動も大変多く、生徒が地域に溶け込んでいる印象を強くしました。これらの活動を通じて、万引きが1件しかなかったという話がありましたが、生徒が変化し、成長していったことで何かお気づきの点がありますか。

○回答 中学生は、割合、自己肯定感や自己有用感が下がってくる時期です。その意味では地域で自分たちが活躍できる場があって、自分たちが必要とされているというメッセージが伝わると、子どもたちの自己有用感は確実に上がっていきます。久米地区では、他に本館の運動会や分館の運動会にも中学生が集団で参加しています。集団で体育祭の手伝いをするようになると、学校で認められなくても「地域に行ったらわしの天下や」という子が出てきます。そうなる学校の中でもきちっとフォローが出来て、自分に自信を持った子どもがたくさん出てきたと思います。

4年ぐらい前までは、中学生300人ほどが電車やバス、自転車に乗って、郊外や市内に職場体験に出かけていました。そうすると、先生も引率していかなければいけない。それは大変だろうと、「地元にもたくさん企業があるので、こちらでその企業を斡旋するから、是非地元で職場体験してください。」と伝えました。

そうすると企業にとっては、子どもたちが2日間、午後2時から3時ぐらいまでですから非常におじやま虫。邪魔になってしょうがないのですが、気持ち良く引き受けてくれます。そして、顔見知りになれば朝の通学や下校時に必ず声をかけてくれる。こういうことがいろいろな面で防犯に役立っていると感じております。